

# GALOA<sup>®</sup> - MR II

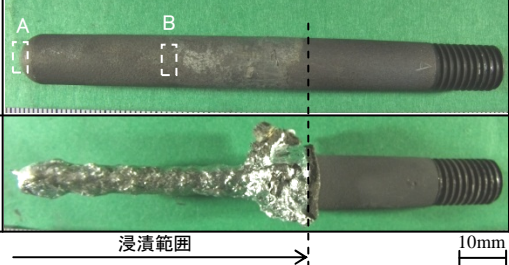
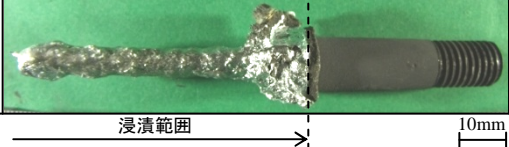
溶融錫・錫合金（鉛フリーはんだ）の耐浸食コーティングであるGALOA<sup>®</sup>-MRを改良し、溶融亜鉛・亜鉛合金での耐浸食コーティングとして優れた特性を示すGALOA<sup>®</sup>-MR IIを開発しました。

## ▶ 溶融亜鉛に対する耐浸食性

GALOA<sup>®</sup>-MR IIと比較材(WC/12Coサーメット溶射被膜)を、480℃の純亜鉛浴に浸漬し、耐浸食性を比較しました。

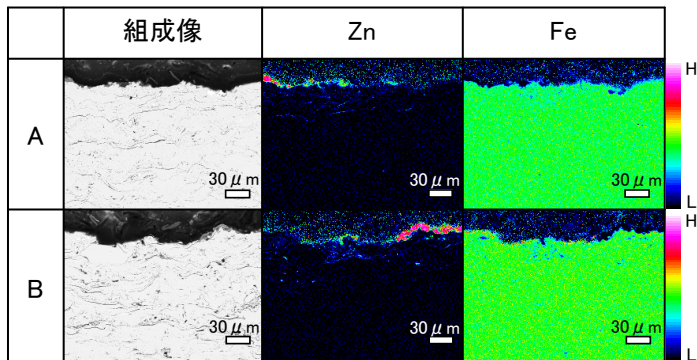
溶融亜鉛への浸漬試験結果

試験条件

被膜材質	浸漬時間	浸漬試験後外観	試験浴	Zn $\geq$ 99.995%
GALOA <sup>®</sup> -MR II	1,000hr		試験温度	480℃
WC/12Co <sup>※</sup> (比較材)	161hr		基材材質 寸法	SS400鋼 Φ10×100mm丸棒
			膜厚	220~250 μm (GALOA <sup>®</sup> -MR II) 300~360 μm (WC/12Co)

※装置メーカー純正材料、標準溶射条件で作製

SEM/EDSによるGALOA<sup>®</sup>-MR IIの断面組織



比較材のWC/12Co溶射被膜は、161hr経過時点で被膜が完全に消失し、基材まで浸食されましたが、GALOA<sup>®</sup>-MR IIは1,000hr経過後でも試験片外観に変化は無く、被膜の厚みの減少も見られません。

被膜の断面組織をSEM/EDSにて分析した結果、被膜内部への亜鉛の浸入も殆ど確認されませんでした。

GALOA<sup>®</sup>-MR IIは、連続溶融亜鉛めっき鋼板製造ラインのシンクロール、サポートロールの耐浸食コーティングとしての応用が期待できます。

## ▶ お問い合わせ先

**TOPY トピー工業株式会社**

研究開発センター 新事業企画部

お気軽にお問い合わせ下さい。

〒141-8634 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー

Tel.03-3493-0162 Fax.03-3493-0199 <http://www.topy.co.jp/tech/index.html>

2012年11月版